

漁海況通信

長崎県総合水産試験場 漁業資源部 海洋資源科
 〒851-2213 長崎市多以良町 1551-4 電話 095-850-6304 FAX 095-850-6346
 ホームページアドレス <http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/>

トビウオ漁況予報
「今年のトビウオ（小トビ）の来遊量は平年並みでしょう」

予測の考え方

- 本県において、トビウオ類は5～7月に主に定置網で産卵親魚が漁獲され、9～10月に船曳網や定置網でその年生まれの未成魚（小トビ）が漁獲されます。
- 漁獲されるトビウオ類は、春～夏にはホソトビウオ（丸トビ）とツクシトビウオ（角トビ）の2種ですが、秋にはこれにホソアオトビが加わった3種となります（図1）。
- 秋に漁獲される小トビは、初夏に九州北西部から日本海西部の海域で生まれ、成長しながら南下していく途中の群と考えられます。
- これまでの研究から、小トビの漁獲量の変動要因として、産卵親魚の量や日本海西部海域の水温、8月の降水量、漁期中における北よりの風の日数などが挙げられます。

予測の根拠

- 産卵親魚の量
 今年5～7月の本県標本地区における定置網でのトビウオ類の漁獲量は、角トビでは平年並み、丸トビでは平年を下回ったことから、産卵親魚の来遊量は、トビウオ類全体としては平年よりもやや少ないと考えられます。
- 8月の降水量
 日本海西部海域の8月の降水量が少ないと、小トビの漁獲量が多い傾向がありますが、九州北部（山口県含む）の8月（8/4～9/3）の降水量は少ない可能性が高いと予報されています。
- 日本海西部海域の水温
 日本海西部海域における7月の旬別平均表層水温は、22～27℃台と平年並みで推移していることから、小トビの回遊条件としては平年並みの条件であると考えられます。

以上のことから、**今年の小トビの来遊量は『平年並み』**と予測しました。

上回る	並み	下回る
平年の1.2倍以上	平年の0.8～1.2倍	平年の0.8倍以下

【参考】標本地区におけるトビウオ類（小トビ）漁獲量（図2）

※平年は過去5ヵ年平均値：約125トン

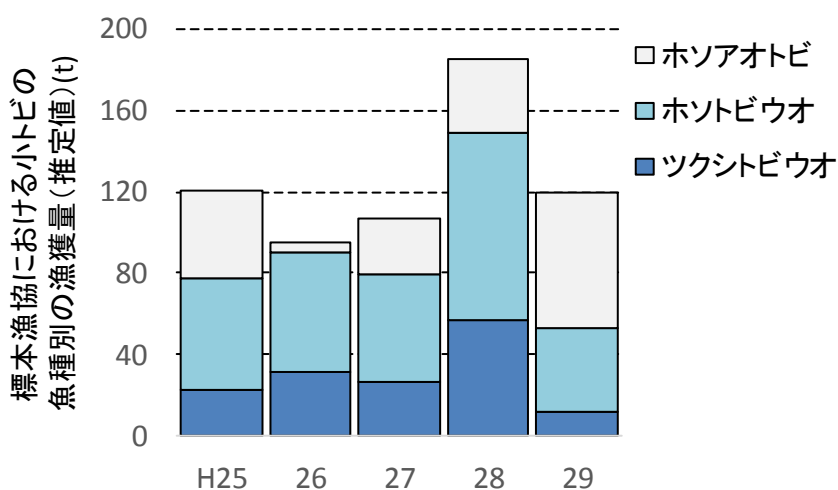


図1 標本漁協におけるトビウオ類（小トビ）の魚種別漁獲量（推定値）

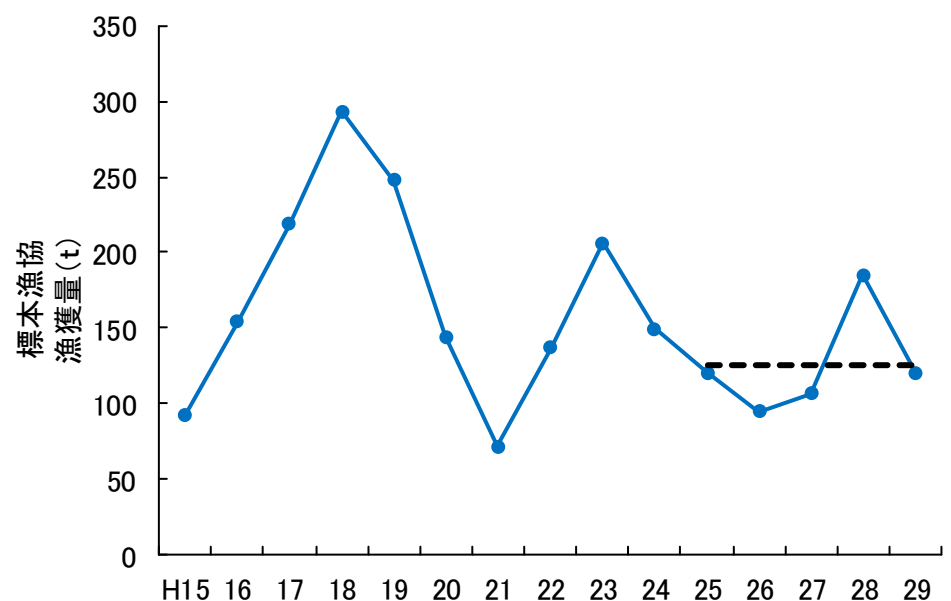


図2 標本漁協におけるトビウオ類（小トビ）漁獲量